

一大文

浦村はあり神祇園神として烏帽子を忌
を忌粗巧として腰より下は袴又粗なり
風神として級長を忌令云傳へり板風神を
大忌と稱する例神社啓蒙二十二社と神
廣濃社所撰の因又南部名所記あり見へ
り宝永に年吹浦村の神を 公義へ奉
上り書付の因大忌神社は五穀の靈神
として倉福龜命小忌神社は風神級長津
彦命として飽海郡の因飛騨に吹積と云上

一、大忌の事、林大学頭後醍醐天皇
崩も小忌神社を風神といふ事大忌小
忌忌録記し見へり元文年中吹浦村の社
祭古事大忌神事木の事子細ありて吉田
海へ江進を忌命の秋吹浦村の風神を後
所へ召して小忌神社吹積の地吹積有
風神飛騨を忌吹積の地といふ大忌の
社祭ハ飛騨日吉社日吉後家の支配下
あり先年大忌建立の附日吉先社日吉後
清といふもの栴札を書大忌小忌神社級